

# さいたま市消防局男性消防吏員冬服等仕様書

## 第1 総則

- 1 この仕様書は、さいたま市消防局（以下「当局」という。）が購入する、男性消防吏員冬服上衣、ズボン、ネクタイ、バンド及び冬帽（以下「冬服等」という。）について必要な事項を定めることを目的とする。
- 2 この仕様の細部については、仕様書及び概要図を参照するとともに、当局担当者と打合せの上、決定する。また、この仕様書に疑義が生じたときは、当局担当者の指示を受けなければならない。
- 3 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズなどのないものを使用すること。また、織上がりは均整で、織りキズ、糸節汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- 4 縫製について、各部の縫い合わせ部はすべて優良で、縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分に配慮し、行わなければならない。
- 5 受注者は、納入前に自主検査を行うとともに、製作工程上の品質管理の適正を図ること。
- 6 検収後であっても、生地、付属品、寸法等製造上の欠陥が認められたときは、契約業者の責任とし、無償で修理又は交換すること。
- 7 契約業者は、製作にあたり当局から提示されるサイズ内訳、職員氏名その他の情報を、製作の目的以外に使用し又は第三者に提供してはならない。

## 第2 共通事項

### 1 承認済品番

冬服等（ネクタイ及びバンドを除く。）に使用する表生地については、次に掲げる品番を承認済品番とする。

- ・ 日本毛織(株) S1401E C/＃紺

### 2 同質品

承認済品番と同等の色相及び物性規格を有する生地（以下「同質品」という。）を使用する場合は、別表1に掲げる物性規格を満たす物であること。

### 3 提出書類等

(1) 表生地に同質品を使用する場合は、次に掲げる各証明書及び生地見本を、見積書の提出時に併せて当局に提出し、承認を得ること。

ア 別表1に示す全ての項目について物性規格を満たすことを証明する、一般財団法人カケンテストセンター等の証明書 1通

イ 紡績メーカーの原反出荷引受の証明書 1通

ウ 目視による確認のための生地見本（縦20cm、横15cm程度） 1通

(2) 前号による提出については、次のように扱うものとする。

ア 生地見本はA4台紙に貼付して提出すること。

イ 提出された書類及び生地見本は返却しない。

ウ 品質を確認するため、縫製中間検査を行うことがある。

エ 発行を受けた証明書のとおり材料が使用されているか、納品された商品の中から再検査を要求することがある。

- (3) 落札業者は表生地についての紡績メーカーの出荷済証明書を速やかに当局に提出すること。
- (4) 契約業者は契約後、本仕様書に基づき速やかに製作見本を作成し、当局の承認を受けた後に本製作にあたること。

#### 4 材料及び付属品

冬服等に使用する材料及び付属品については、次に掲げる物と同等以上とする。

- (1) 上衣及びズボン 別表2-1のとおり
- (2) ネクタイ 別表2-2のとおり
- (3) 冬帽 別表2-3のとおり

#### 5 サイズ

- (1) 上衣 別表3-1のとおり
- (2) ズボン 別表3-2のとおり
- (3) ネクタイ 別表3-3のとおり
- (4) バンド ウエスト120cm対応のフリーサイズ
- (5) 冬帽 頭周り54cmから64cmを1cm刻みで分けた、11種類
- (6) 職員のサイズ表は契約後に当局より提示する。なお、特寸者については契約会社において採寸を行うとともに、データの一覧表を作成の上、納期までに当局に提出すること。

#### 6 縫製全般

- (1) 縫い代は、各部分に適した十分なものとする。
- (2) 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりがないものとする。
- (3) 縫い目数は、次の数値を標準とする。
  - ア 地縫い運針数 12針/3cm間
  - イ 飾りステッチ 12針/3cm間
- (4) 飾りステッチ幅は、約0.6cmと端ミシンとする。
- (5) 飾りステッチは、表ミシンとする。
- (6) ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。
- (7) 各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。
- (8) アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。
- (9) 接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式しん張りプレス機を用いて全面接着をする。
- (10) 布目は、パターン指定どおりにする。

#### 7 品質表示

繊維製品品質表示規程（平成27年3月31日消費者庁告示第3号）に定める方法等により氏名札の下部に印刷して表示すること。

### 第3 上衣仕様

#### 1 型式

ダブル、剣襟、6つボタン、3つ掛け、袖口ブレード、背抜き仕立て

#### 2 襟

- (1) カラークロス（共地も使用可）にバイヤスの芯を添えて表襟とあわせ縫いする。
  - (2) 襟裏は折り返し線に一条のミシン縫いをする。
  - (3) 上襟両端部に芯をはり、上襟と襟腰を地縫いし、割ミシン縫いをする。
- 3 襟付け
- (1) 地襟付けは、千鳥ミシン又はからげミシン縫い（地縫いも可）する。
  - (2) 上襟と身返しは地縫いし、襟ぐりは縫い割り、とじを入れる。
- 4 前身頃
- (1) 前身頃前部全面に芯をはり、胸ダーツは片倒し縫いとし、脇の切り替えは縫い割りとする。
  - (2) 増し芯は肩幅いっぱいに入れ、身頃に馴染ませて、しっかりと閉じる。
- 5 胸増し芯
- (1) バス芯及びフェルトで、肩ぐせをとり、型くずれのないようにする。
  - (2) 刺し方は、千鳥ミシン刺しとする。
  - (3) 返り線にストレートの接着テープを縫い付け、ルイスミシン縫いをする。
- 6 胸ポケット
- (1) 着用左胸に箱型ポケットをつける。
  - (2) ポケット内部には、手帳止めのループを取り付ける。
- 7 腰ポケット
- (1) 左右腰部に片玉ぶちの切ポケットをつける。
  - (2) 周囲に飾りステッチをかけた雨蓋をポケット口につける。
- 8 内ポケット
- (1) 左右に片玉ぶちの切ポケットをつける。
  - (2) 蓋は、裏地を二つ折りにし、幅5cm上がりの三角に折り上げ、ボタン穴をかがり、ポケットの内に取り付けた、相方のボタンと留められるようにする。
  - (3) ポケットの内の両端には、かんぬきを入れ袋の下は身返し縫い代に止める。
- 9 裏
- (1) 背抜き仕立てとし、脇縫いは前身頃脇を背の脇縫い代端にミシンで縫いつける。
  - (2) 背中央はキセをかける。
  - (3) 裏地の裾と背縫いとの間には、鎖止めをすること。
  - (4) 左脇下より、下前身頃つりひもを共地にて製作し取り付ける。
- 10 身返し
- (1) 前面に芯をはり、裾まで継ぎ目なしとする。
  - (2) 幅は、上端で2cm以上、裾で7cm以上とする。
  - (3) 襟付けから返り線に沿って、前身頃と身返しを通して止め縫いをする。
- 11 肩縫い
- (1) 表地は割り縫いする。
  - (2) 裏地は肩倒し縫いする。
- 12 階級章取付け用面ファスナー
- 着用時右胸部に、面ファスナー（ループ面）幅約2.5cm長さ約4.0cmを縫い付ける。
- 13 裾

- (1) 表地の折り返しは4 cm以上とする。
  - (2) 裏地は、フラシ奥縫いとし、裾端10 mm～25 mmの箇所までとする。
- 14 袖
- (1) 二枚袖とする。
  - (2) 袖口の折り返しに芯を貼り、山袖に袖章を別表4のとおりに取り付ける。
  - (3) 裏地は筒袖縫いをし、縫い目は方倒しで、とじを入れる。
- 15 袖付けと肩台
- (1) 袖ぐりにはテープを貼り、袖山の拵綿をつける。
  - (2) 裏地はまつり縫い又はミシン縫い付けとする。
  - (3) 肩台は、増し芯と裏地の間にとじ付け、袖付け縫い代に緩みをもってつける。
- 16 前身頃穴及びボタン
- (1) 下前身頃に2行に3個ずつボタンを取り付ける。
  - (2) 上前身頃端に3つがけ用の鳩目穴かがりをあける。
- 17 氏名札及びサイズ札
- (1) 氏名札は上衣の裏側に、サイズ札は襟腰下部中央に付ける。
  - (2) 氏名札片布には、納入業者名を記入すること。

#### 第4 ズボン仕様

##### 1 型式

ツータック、裾シングル又はフリータイプ、前ファスナー、後ろ右尻片玉切込みポケット、後ろ左尻蓋付き片玉切込みポケット

##### 2 脇ポケット

- (1) スリットポケットを左右脇に各1個つける。
- (2) 口布は、表地を中心で1.0 cm以上折り返し、約0.7 cmの飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から表地を中心で6.0 cm以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。
- (3) 口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりする。
- (4) 口の下端はかんぬき止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏とも必ず1.0 cm以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫う。
- (5) 右ポケットの袋内部に、斜め口の小ポケットを縫い付ける。

##### 3 尻ポケット

- (1) 片玉縁作りとし、左右に各1個つける。(玉縁作りミシン使用可)
- (2) ポケット周囲は端ミシンをかけ、口の両端はかんぬき止めをする。
- (3) 向当布は幅4 cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりし、袋地に縫い付ける。
- (4) ポケットは、ポケット口中央にボタンを縫い付ける。また、左側の尻ポケットは中央にボタン穴をかがった雲形雨蓋をつける。
- (5) ポケット袋は、地縫い返しし、飾りステッチをかける。
- (6) 袋地の上端は、表裏とも必ず1 cm以上腰帯にかかるようにする。

##### 4 タック

外向きタックを左右各2本取る。

## 5 腰ダーツ

左右腰後部に各2本取り、片倒しをする。

## 6 天狗及び前立て

- (1) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりする。
- (2) 天狗の鼻は島で持ち出すか「ち」をつけ、先端にボタン穴をかがる。
- (3) 前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりする。
- (4) 前立て飾りは、幅3.5cmとする。
- (5) 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央にする。
- (6) 小股かんぬき止めをする。
- (7) 小股かんぬきの上に、天狗裏側から前立てとともにかんぬきを入れる。

## 7 ファスナー付け

- (1) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- (2) 前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りし、二条縫いで縫い付ける。

## 8 脇縫い及び内股縫い

- (1) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (2) 裁ち目は、オーバーロックかがりする。

## 9 尻縫い

- (1) 地縫い割りし、二重縫い又は環縫いミシンする。
- (2) 上部の縫い代は2cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりする。
- (3) 棒シックは、股ぐりにそって、ミシン縫いで表まで打ち抜く。

## 10 腰裏

- (1) マーベルト、スレーキを使用し、前立て側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。
- (2) 後部（尻縫い目）は縫い割りする。
- (3) 左右脇縫い目の箇所、後身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにする。
- (4) 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの個所で、表生地に通して、かんぬき止めをする。
- (5) 腰裏の下端は、尻縫い代及び尻ポケットの箇所でまつり止めする。

## 11 腰帯

- (1) 腰は3.5cmの腰帯付とし、脇縫いの個所で、後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。
- (2) 腰帯内部に伸縮テープを入れ、前身側と後身側が互いに引き合い、腰廻り寸法の拡張が左右共に2.5cm以上可能になるようにする。

## 12 バンド通し

- (1) 8本付け（後ろ中央に2本付け）とする。
- (2) ループ作りは片側に四つ折り縫いとし、両端は端ミシン縫いし、幅約1.0cm、長さ約4.5cmとする。
- (3) 取り付け位置は、ズボン上端よりやや控え、上部は浮かして付ける。
- (4) バンド通し付けはミシンかんぬき止めし、両端は本縫い4回以上とする。

## 13 裾

- (1) 折り返し幅3 cm以上とし、すくい縫いする。
- (2) 裁ち目は、オーバーロックかがりをするか、三ツ折返しする。

#### 14 氏名札及びサイズ札

- (1) 氏名札及びサイズ札はズボンの裏側に付ける。
- (2) 氏名札片布には、納入業者名を記入すること。

### 第5 ネクタイ仕様

#### 1 型式

正バイヤス、三ツハギ、長ネクタイとし、総裏付とする。

#### 2 裁断

表地及び芯地共、正バイヤスとする。

#### 3 縫製

- (1) 表地のハギは二箇所とし、地縫いしアイロンで割る。
- (2) 芯地は表地幅に適した余裕をとり、かたくずれのないように幅なりに縫い付ける。  
芯付けの縫い代は5 mm以上とし、本縫い、ピンポイントミシンまたはリバーミシンとする。針数は、2.5 cm間、本縫いミシンで4～8針、ピンポイントミシンで2～4針、リバーミシンで1～3針標準とする。
- (3) ハギ縫いと、総裏地付けは、本縫いミシンを使用し、縫い代を8 mm以上として、針数は2.5 cm間、8～12針標準とする。尚、裏地の大剣は剣先より16～17 cm、小剣は剣先より10 cmとし、大剣は止めにする。

#### 4 氏名札

氏名札は大剣の裏側に付ける。

### 第6 バンド仕様

#### 1 型式

キューリット式ベルト

#### 2 バックル

- (1) キューリット式バックル ウエルダー銀色消防章入り
- (2) バックル表面に合成皮革張り
- (3) 中一尾錠：亜鉛ダイキャストクロームメッキ
- (4) 止め金具付調整金具：鉄クロームメッキ

#### 3 バンド

- (1) 素材：革製または、PVC合成皮革
- (2) 色相：紺色
- (3) ストッパー：6.6ナイロン
- (4) 中芯：合成芯
- (5) 縫糸：20番ナイロン糸
- (6) 幅：28 mm
- (7) バンド通し：1本付き

## 4 加工

- (1) 裏地剣先より所定の位置に内側よりストッパーを縫着し、中芯を入れ表地と裏地を接着しコバ染後縫着する。
- (2) 糸間隔は9針/30mm以上とする。
- (3) バンド本体の厚みは3mm以上とする。

## 第7 冬帽仕様

## 1 型式

士官型・前章金モール・顎ひも付き

## 2 まち縫い

- (1) まちは、前面2枚及び後面2枚を縫い合わせる。
- (2) 縫い目の両側は飾りミシン縫いをすること。

## 3 通気穴

まちの両側に左右各2箇所に鳩目穴を打ち指定の鳩目を取り付ける。

## 4 前立

指定の前立バネをかぶせる。

## 5 天井

指定の天井裏をパッキンより吊るす。

## 6 腰布

腰布の下部に玉縁を作り、両端を縫い合わせて輪状にする。

## 7 天井とまち縫い

- (1) 天井とまちを縫い合わせる。
- (2) 縫い目の両端はかざりミシン縫いとする。

## 8 まちと腰布付け

- (1) まちの下部と腰の上部を縫い合わせる。
- (2) 腰布の縫い目は後方とする。

## 9 腰枠取り付け

- (1) 腰枠を輪状にし、ホチキス止めする。
- (2) 前立バネを取り付ける。

## 10 庇付け及び滑付

- (1) 腰枠を腰布内部に入れて、腰布下部を内側に折り返しミシン付けをする。
- (2) 前面の中央にはひさしを付け、内側に滑りを縫い付ける。
- (3) すべりの後部は重ねて鳩目で止める。

## 11 周章

- (1) 帽の腰周りには、黒色のななこべりを巻き、消防司令以上の場合には蛇腹組金線及び蛇腹組黒色線を、消防司令補の場合には蛇腹組黒色線を巻くこと。
- (2) 形状及び寸法は、別表5のとおりとする。

## 12 氏名札片布

- (1) 氏名札片布を天井裏の透明ビニールのポケットに入れること。
- (2) 氏名札片布には、サイズ、納入業者名を記入すること。

第8 数量、納期、納入場所

1 数量

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| (1) 男性消防吏員冬服上衣  | 24着 |
| (2) 男性消防吏員冬服ズボン | 24本 |
| (3) ネクタイ(L)     | 0本  |
| (4) バンド         | 0本  |
| (5) 男性消防吏員冬帽    | 0着  |

2 納期

令和6年6月28日(金)

※ 納品2日前までに納品日及び時間を連絡すること。

3 納入場所

さいたま市浦和区常盤6-1-28

消防局総務部消防企画課



別表1 (表生地規格)

材料名	区分	規格	試験方法	
表生地	生地	サージ		
	組織	2 / 2 正斜紋織り	JIS L1096	
	混紡率	ウール100%	JIS L1030	
	色相	濃紺 当局指定色		
	糸番手	経	2 / 48	JIS L1096
		緯	2 / 48	
	密度 (10cm間)	経	306本中心	JIS L1096
		緯	258本中心	
	重量	250g / m <sup>2</sup> 以上	JIS L1096	
	寸法変化 率	経	3%以内	JIS L1096 C法
		緯	3%以内	
	染色堅牢 度	耐光	5級以上	JIS L0842
		洗濯	変 4級以上	JIS L0844 A-1法
			汚 4級以上	
		汗	変(酸・アルカリ) 4級以上・4級以上	JIS L0848 A法
			汚(酸・アルカリ) 4級以上・4級以上	
	摩擦	乾 4級以上 湿 4級以上	JIS L0849 II型	
ドライ	変 4級以上	JIS L0860 (ハークロルエチレン)		
	汚 4級以上			
染色方法	先染			
加工	抗菌消臭加工 (SEK マーク付き)			

別表2-1 (材料等：上衣及びズボン)

材料名	区分	規格	
裏地 (胴)	生地	カルゼ	
	組織	綾織	
	原糸種別	ポリエステル100% (再生100%)	
	糸番手	経	84DTEX
		緯	110DTEX
	密度	経	600本以上 10cm間
		緯	340本以上 10cm間
	重量	95g/m <sup>2</sup> 以上	
	引張強度	経	900N/5cm以上
		緯	780N/5cm以上
	染色堅牢度	4級以上	
収縮率	3%以内		
加工	静電防止		
裏地 (袖)	組織	平織	
	混紡率	ポリエステル100%	
	原糸種別	縦 ポリエステル 横 ポリエステル	
	密度	縦	118本以上
		横	89本以上
	染色堅牢度	4級以上	
収縮率	3%以内		
カラークロス	素材	ウール93%・ナイロン7% 又は ポリエステル50%・アクリル50%	
	染色 堅牢度	汗	4級以上
		洗濯	4級以上
		摩擦	4級以上
増芯 (バス芯)	素材	(経)綿100%・(緯)レーヨン65%以上ウール18%以上混紡 又は ポリエステル70%・レーヨン30%	
	収縮率	経	1%以下
		緯	1%以下
重量	210g/m <sup>2</sup> 以上		
増芯 (フェルト)	素材	毛 50%標準 レーヨン 50%標準	
	組織	不織布	
	厚さ	0.9mm標準	
	重量	経	125g/m <sup>2</sup> 以上
		緯	125g/m <sup>2</sup> 以上
収縮率	経 3%以下 緯 3%以下		
肩綿	表	(アラクネ)ポリエステル綿、ポリエステル糸、ポリアクリル酸エステル樹脂 接着剤 (フェルト)ポリエステル糸、ポリアクリル酸エステル樹脂接着剤	
	中綿	(ニードル・フェルト)ポリエステル綿、テロンター樹脂接着剤(ドット、ホットメルト、バインダー)	
	裏綿	(ニードル・フェルト)ポリエステル綿、テロンター樹脂接着剤(ドット、ホットメルト、バインダー)	
	厚さ	10mm標準	

	その他	ウオッシュャブル適用品	
衿綿	表	経 T/R 65/35% 緯 毛 18/レーヨン 80 他 2%	
	裏	経 レーヨン 20% 緯 エステル 80%	
	糸番手	経	30/1
		緯	10/1
厚さ		2mm標準	
芯地 (襟)	組織	平織り	
	種類	ポリエステル混紡	
	収縮率	経	1%以下
緯		1%以下	
芯地 (その他)	組織	平織り又は不織布	
	種類	ポリエステル混紡	
	収縮率	3%以下	
ボタン 上衣前	形式	一枚板足つき	
	色相	ゴールド(本金メッキ)	
	図柄	消防章	
	経	20mm	
ボタン (練り)	材質	尿素樹脂(紺色雲入り)	
	経 mm	15	
	使用個所	上衣:内ポケット口・下前つり紐用 ズボン:尻ポケット・天狗裏	
袋地 (ズボン用)	組織	綾織り	
	混紡率	ポリエステル65% レーヨン35%	
	密度	経	330本以上
		緯	240本以上 インチ間
	糸使い	縦	30/1
横		30/1	
ファスナー		No.3 ナイロン製 止エロンファスナー又ミラ	
マーベルトテープ	滑り止め	ポリウレタン(オパロン) 2240D	
座金前かん	使用個所	ズボン天狗・前立て	
糸	地縫い	ポリエステル糸	
	飾り縫い糸		
	穴かがり糸	ポリエステル糸	
面ファスナー	種類	ナイロン製	

別表2-2 (材料等：ネクタイ)

材料	区分	規格
表生地	素材	経糸：ポリエステル100%
		緯糸：ポリエステル100%
	糸の太さ	経糸：150 デシテックス
		緯糸：150 デシテックス
	密度（1インチ間）	経糸：103本以上
		緯糸：84本以上
	組織	テトロンツイル
	収縮率	2%以下
染色堅牢度	4級以上	
色相	当局の指定の色相	
芯地	素材	経糸：ポリエステル100%
		緯糸：ポリエステル100%
	打ち込み糸番手 （1インチ間）	経 108本以上 緯 88本以上 経 10/単 緯 10/単
裏地	品名	タフタ
	素材	ポリエステル100%

別表2-3 (材料等：冬帽)

材料名	区分	規格
腰枠	素材	発砲ポリエチレン板
	厚さ	1mm以上
	幅	50～52mm
ひさし表	素材	ビニールシート
	色相	黒色・つや消し
ひさし裏	素材	ビニールシート
	色相	黒色・しば付き
ひさし縁	素材	ビニールシート、2本縁縫い
	色相	黒色
あごひも	素材	なめし革
	幅	10mm
	色相	黒色・つや消し
すべり	素材	デラクール
	色相	黒色
帯章	織	斜子織
	色相	黒色
前章	素材	金モール・金属消防章
	型	準則の通り
	台座	黒色
耳章	素材	黄銅製
	型	消防章
	寸法	五分
	色相	金色
張り出し	素材	発砲ポリエチレン
	型	半月型
前立ばね	素材	鋼板及びビニール
	型	半月型
天井裏	素材	ビニール
	型	透明ポケット付
鳩目	素材	黄銅製
	サイズ	200番
	色相	黒色
糸	地縫い 飾り縫い糸	ポリエステル糸及び綿糸

別表3-1 (上衣サイズ)

単位 c m

サイズ表示	バスト	肩幅	袖丈	着丈
A 2	103	44	54	70
A 3	105	44	56	72
A 4	110	46	58	73
A 5	115	48	60	75
A 6	120	50	61	77
B 2	110	47	55	71
B 3	115	49	57	73
B 4	122	51	58	75
B 5	129	53	60	77
B 6	135	55	62	79
C 2	103	44	57	74
C 3	105	44	59	75
C 4	110	46	61	77
許容量 (規格寸の場合)	+ 2 - 1	± 1	± 1	± 1
サイズ調整			偶数単位	偶数単位

別表3-2 (ズボンサイズ)

単位 c m

サイズ表示	腰囲	股上	裾口	股下
1号	70	26.0	23	74cm 上がりを 基準に偶数単位で 股下の調整をす る。
2号	73	26.0	23	
3号	76	27.0	23	
4号	79	27.0	24	
5号	82	28.0	24	
6号	85	28.0	24	
7号	88	28.0	24	
8号	91	28.0	25	
9号	95	29.0	25	
10号	100	30.0	25	
11号	105	30.0	25	
12号	110	32.0	26	
許容差	±1.0	±1.0	±0.5	±1.0

別表3-3 (ネクタイサイズ)

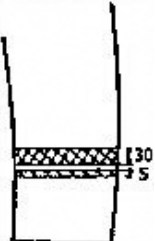
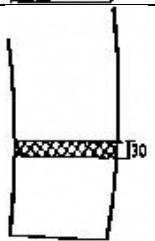
単位 cm

	長さ	大剣幅	中間幅	小剣幅
寸法 (L)	140	8	3	4
許容差	-2・+3	-0.2・+0.3	-0.2・+0.3	-0.2・+0.3
寸法 (M)	130	7	3	4
許容差	-2・+3	-0.2・+0.3	-0.2・+0.3	-0.2・+0.3

別表4 (袖章)

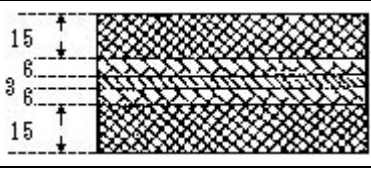
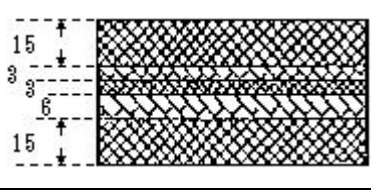
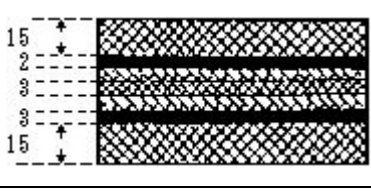
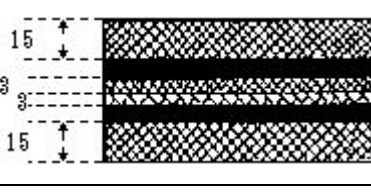
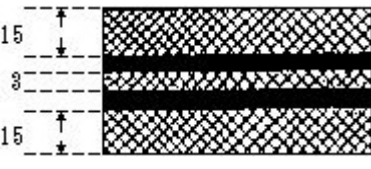
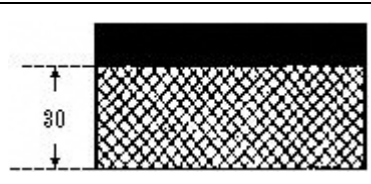
単位 mm

階級	周章
消防司監 消防正監	
消防監	
消防司令長	
消防司令	
消防司令補 ※ 5 mmは金線	

消防士長 ※5mmは銀線	
消防副士長 消防士	

別表5 (周章)

単位mm

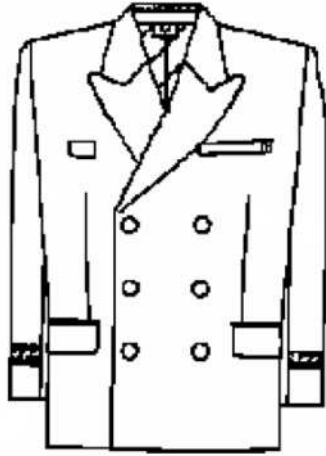
階級	周章
消防司監	
消防正監 消防監	
消防司令長	
消防司令	
消防司令補	
消防士長 消防副士長 消防士	



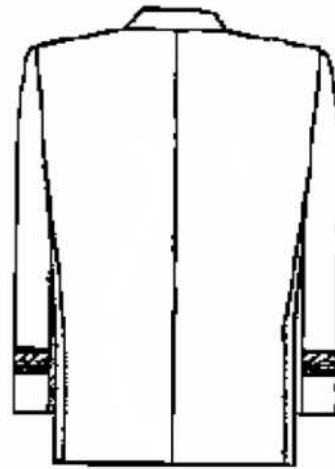
【概要図】

[冬服上衣]

前面図

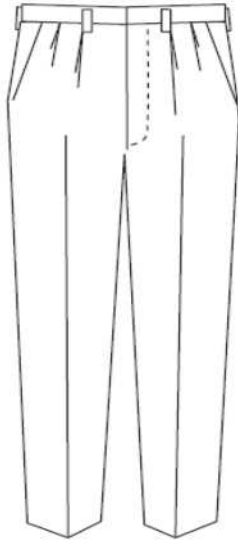


後面図



[冬服ズボン]

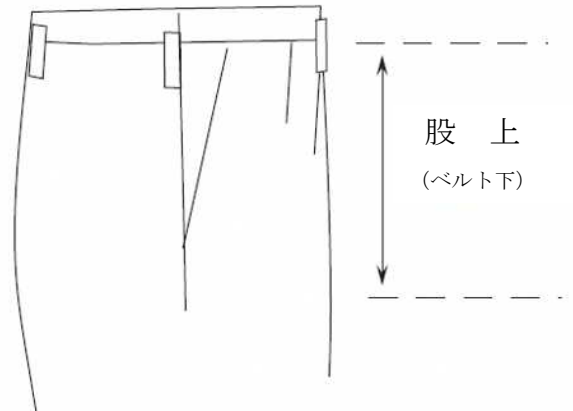
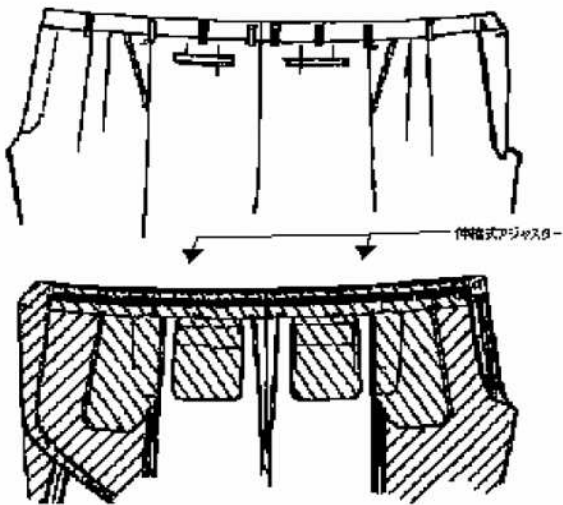
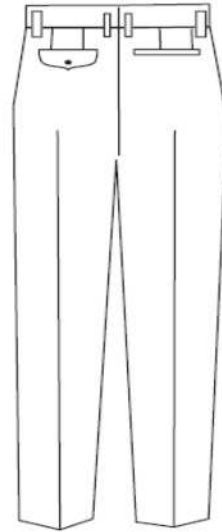
前面



側面



後面

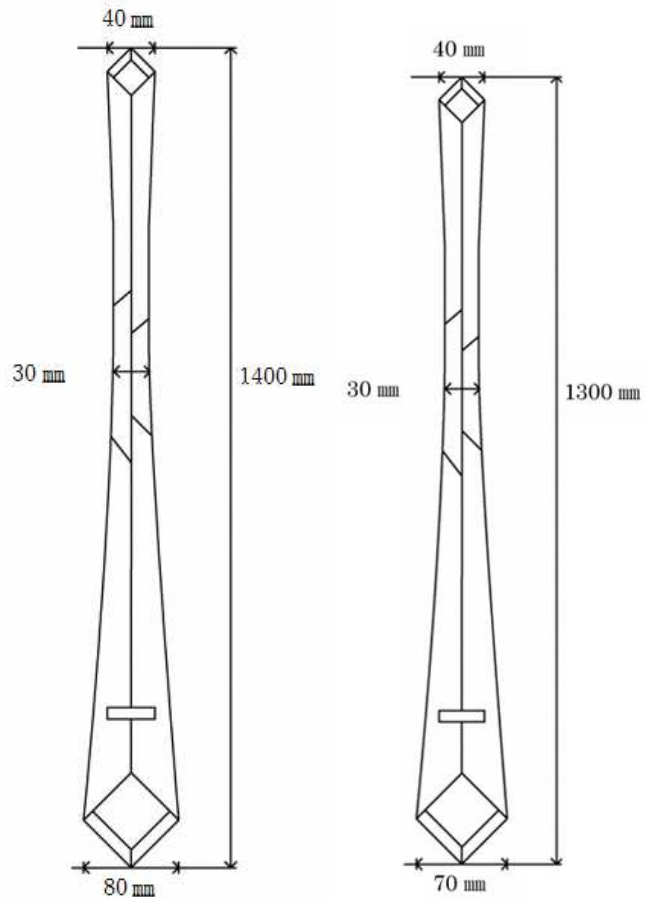


[ネクタイ] (ヌウ全長: 11 mm)

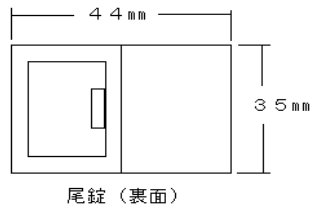
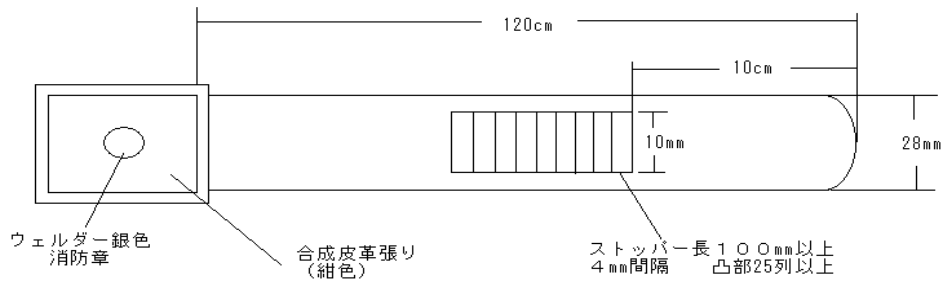
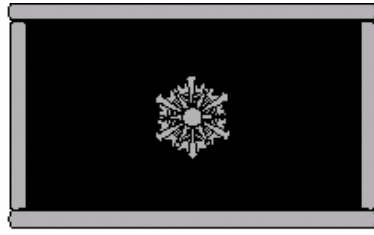


【Lサイズ】

【Mサイズ】



[バンド]



[冬帽]

